

## インドネシア文化祭を開催しました【4月21日（日）】

平成31年4月21日（日）、愛媛大学城北キャンパスで、インドネシア文化祭「Let's go around Indonesia」を開催しました。このイベントは、在日インドネシア留学生協会（略称PPI）愛媛支部が、地域の方々にインドネシアの文化や芸能を広く紹介することを目的として開催するもので、春の開催は5年ぶり4回目となります。初夏を感じさせる爽やかな晴天のもと、会場には学生や企業関係者のほか、一般市民など200人を超える方々が来場しました。

メインステージでは、色とりどりの煌びやかな衣装を身にまとった留学生や県内外から招待したゲストダンサーらが次々と登壇し、インドネシア各地の伝統舞踊を披露したほか、地元のマンドリン奏者らとのコラボレーションパフォーマンスで会場を盛り上げました。

会場には、インドネシアの大きな5つの島それぞれの特色などを紹介するブースが設けられ、約20種類のインドネシア郷土料理を揃えた屋台には、ひときわ長い行列ができていました。



▲ミルザ総領事挨拶



▲バリの伝統舞踊



▲ジャワの伝統舞踊



▲マンドリン奏者とのコラボ



▲文化紹介ブース



▲運営スタッフ陣

## インドネシア夏祭り 2019 を開催しました【8月17日（土）】

令和元年 8 月 17 日（土）、在日インドネシア留学生協会（略称 P P I）愛媛支部が主催する「インドネシア夏祭り 2019」が愛媛大学城北キャンパスにて開催され、多くの来場者にインドネシアの文化を紹介しました。

開会式では、主催の PPI 愛媛支部代表のサトリオ・ブディ・プラコソさん（愛媛大学理工学研究科博士課程）および愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センターの小林修センター長の開会挨拶のあと、鮮やかな民族衣装を身に纏ったダンサーらにより、インドネシアの伝統舞踊が披露され、会場は華やかな空気に包まれました。

今年のテーマは「食」。ブースには、インドネシア風やきそば、スープをはじめ、留学生とその家族らが腕によりをかけたインドネシア伝統料理が並び、来場者はインドネシアの様々な味を気軽に楽しんでいました。

また、今年の新たな取り組みとして、地域住民らにインドネシア料理に親しんでもらうため、無料クーポン券を事前配布したり、料理実演・試食コーナーを設けたり、インドネシア人留学生らが企画段階から積極的にアイデアを出し合い、工夫を凝らした夏祭りを作り上げました。



▲開会式の様子

## インドネシアスポーツ大会 2019 を開催しました【11月17日（日）】

令和元年11月17日（日）、愛媛大学城北キャンパス体育館で、インドネシアスポーツ大会（PORMAS-PPI Ehime）を開催し、インドネシア人留学生のほか、県内外のインドネシア人研修生、愛媛大学教職員、県内企業関係者ら約200人が参加しました。

本イベントは、在日インドネシア留学生協会愛媛支部（略称 PPI-Ehime）が主催し、スポーツを通じて、インドネシアからの留学生やその家族など、県内外のインドネシア人のコミュニティと、地域コミュニティとの絆を深めることを目的としています。

開会式には、在大阪インドネシア共和国総領事館から、Risa Ambarizky 副領事が駆け付け、民族衣装に身を包んだインドネシア人女性二人が、ジャワ舞踊の Yapong ダンスで来場者を歓迎した後、インドネシア流準備体操“poco-poco”を参加者全員で行い、競技に備えました。

Risa 副領事と愛媛大学国際連携推進機構 Ruth 特命教授の二人がフットサルボールを蹴り、開幕した本大会では、フットサル、バドミントン、卓球の3種目で参加者が白熱した試合を繰り広げ、体育館は終始大きな歓声に包まれていました。激しい試合が終わると笑顔で握手を交わすなど、様々な国籍からの参加者が互いの健闘を称え合いました。また昼食時には、留学生の家族らが作った彩りあふれるインドネシア料理が販売され、紅葉で色づいたキャンパスでは、国際交流が深まる一日となりました。



▲ジャワ舞踊 Yapong ダンス



▲卓球競技



▲フットサル競技



▲集合写真

## ムスリムの慣習を学ぶ講座「カフェ・ド・インドネシア」を開催しました【2月14日(金)】

昨今、愛媛県内において、外国人旅行者や外国人技能実習生の受け入れ増加に伴い、多様な文化・価値観に触れる機会が増えつつあります。そうした状況を受け、愛媛・インドネシア友好協会は、2月14日(金)、インドネシアやマレーシアなどに多く見られるムスリム特有の慣習・文化を学ぶ講座「カフェ・ド・インドネシア」を開催しました。夕刻からの開催となりましたが、弊協会の会員様を中心に、25名の受講者が集まり、ムスリムを受け入れる際に留意したいことなどについて学びました。

愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センターの島上宗子副センター長の開会挨拶のあと、講師のエルニ・ジョハン先生(愛媛大学連合農学研究科特定研究員)に、スライドを用いて講義をしていただきました。日本でのハラフード対応やお祈り場所の設置状況などについて、ムスリムであるエルニ先生ご自身の体験を踏まえてお話いただき、教科書では学べないムスリムの本音に触れることができる貴重な機会となりました。

講義の後は、インドネシア人留学生らが準備した料理の数々(ミーゴレン、インドネシア風唐揚げ、スイーツなど)がキッチンに並び、受講者らはインドネシアの家庭の味を気軽に楽しみながら、話に花を咲かせていました。



▲会場の様子



▲インドネシア料理の数々



▲料理説明をするエルニ先生



▲ジャコウネココーヒーの試飲